

1. 開催場所：沖縄県総合福祉センター(沖縄県那覇市首里石嶺町 4-373-1)
2. 開催日時：平成 26 年 8 月 19 日(火) 19 時 00 分～21 時 30 分
3. 理事総数：9 名
4. 出席者 監事：宇田薫
理事：比嘉靖、安里克也、比嘉一仁、石川丈、土田真也、田村浩介、山城峻、下里綱、久貝明人

【審議事項】

1) 事務局

1. 会員動向について 【承認】

【入会：9 名】

2) 土田理事(教育部)

1. 現職者共通研修における赤字分の補正について 【承認】

- ・ 7 月 27 日に開催した現職者共通研修について、最終的に 4,094 円の赤字が発生した。
- ・ 収入 1,000 円×88 講座=88,000 円
- ・ 支出 92,094 円

旅費交通費 30,680 円 (4 月会議/5 月会議/7 月会議/当日運営/講師交通費)

通信運搬費 870 円 (講師公文書郵送など)

印刷製本費 1,020 円 (会議資料印刷/当日運営資料印刷)

消耗品費 1,609 円 (印刷用紙購入)

会議費 7,804 円 (3 回の会議の茶菓子代、当日の弁当・茶菓子、講師飲料)

講師謝金 50,111 円 (8 講座、講師延べ 10 名分)

- ・ 補正について発生する財務負担について。

→一般会計に計上していた会議参加のための旅費交通費 55,000 円が、今年度は会議開催なしとなったため、余剰となる見込み。

- ・ 表面的課題は予算案の立て方の問題

例年黒字が出やすい事業のため、本研修についての議案を扱う 4 月以降の会議関連経費(交通費、会議費)を本研修会の予算で処理。

実際の会議ではその他の教育部事業についての案件も扱うので、一般会計予算を用いても問題ない。

研修会の運営部分だけならまだ黒字ではある。

- ・ 本質的には作業療法士の協会・県士会離れ、会員の生涯教育制度離れと考える。
- ・ 今年度入会者(理事会承認分)

4 月：0 名

5 月：2 名(2 名とも昨年度以前の免許取得)

6 月：3 名(うち 1 名は再入会)

7 月：3 名

- ・ 受講者数の推移

平成 20 年度：93 名(268 講座)

平成 21 年度：94+52 名(353 講座)

平成 22 年度：81 名(237 講座)

平成 23 年度：76 名(232 講座)

平成 24 年度：47 名+10 名(153 講座)

平成 25 年度：48 名(139 講座)

今年度：33 名(88 講座)

- ・ 次年度以降の対策

予算案の立て方の検討

本研修の企画修正：現在同一日に 2 会場並行で実施しているものを 1 会場制にして、2 日間での開催とする。

→受講機会を増やし、基礎研修修了のためのハードルを下げる。

3) 比嘉副会長

1. 生活行為向上マネジメント講習会開催について 【承認】

10 月 12 日(日) 9:00～17:00 (講師の都合により変更)

場所：沖縄リハビリテーション福祉学院

講師料：県士会規定と協会規定あり、参考にする

宿泊料：協会規定を参考にする

参加費：会員は資料代として 500 円のみ。非会員・学生は受講なし(会員であるメリットを前面に出す)

※FAX にて受付とマニュアル本の購入希望の受付を行う予定。

4) 比嘉会長

1. 特設委員会の名称について(「(仮) 地域包括ケアシステム推進委員会」) 【承認】

検討内容が伝わり易い名称ということで、「特設委員会 地域包括ケアシステム推進委員会」で承認。

今後は特設委員会として今後3年間の行動目標を立案し会員に公表する。意見を取り込みながら地域包括ケアシステムへの参画推進実現に向けて取り組む。

(第1回地域包括ケアシステム推進委員会)

日時：平成26年8月17日(木) 19:30~21:00

場所：県立中部病院

参加者：比嘉靖、中野小織、村上典子、中村千枝、田村浩介

議事：①地域包括ケアシステムにおける情報収集と共有 ②沖縄県の取り組みの情報収集と共有
③地域ケア会議の研修(大分県)から学んだことの共有 ④沖縄県作業療法士会ができることの整理
⑤3年後ビジョンにおける今年度の取り組みの検討と整理 ⑥今年度の取り組みの役割分担
県士会ができること：①生活行為向上マネジメント ②地域ケア会議 ③講話(自治会など)
④モデル(コミュニティサロンなど) ⑤調査

決定事項：大分県への派遣(9月)、コーチング研修会(10月25日)開催、

地域ケア会議研修会(11月8日、9日)開催、沖縄市まちづくりシンポジウム(11月23日)の後援

2. 九州士会長会にて臨床実習指導者養成研修会への参加要請について 【派遣は承認 人選は継続審議】

九州士会長会予算にて1名、沖縄県士会予算にて1名の派遣について承認。

人選については9月中旬の締め切りまでに決定する予定。

【報告事項】

1) 事務局

局長：久貝明人

1. 会員の動向について：【異動：1名】

2. 受理文書について

日本作業療法士協会(平成27年度作業療法推進活動パイロット事業助成制度の案内、平成26年度生活行為向上マネジメント助成事業審査結果について、暑中見舞い)、他都道府県士会ニュース・会報誌・学術誌・研究冊子(兵庫、東京、滋賀、島根、福岡、山形、群馬、熊本、神奈川、茨城、山梨、山口)、役員就任のお知らせ(茨城、学校・医療・社会福祉法人おもと会、医療法人博寿会)、他団体ニュース・会報誌・学術誌・研究冊子(沖縄県社会福祉協議会、沖縄県手をつなぐ育成会、沖縄県脊椎損傷者協会、沖縄県精神保健福祉連合会、沖縄県理学療法士協会)、沖縄県医師会(第2回平均寿命サミットに係る行事後援について)、沖縄県社会福祉協議会(「2014福祉機器展」についてのお礼状)、沖縄県精神科病院協会(御礼)、琉大医学部附属病院がんセンター(他団体後援名義使用について講演会チラシ送付について)、大分県立病院(平成26年度大分県職員(作業療法士「経験者」)採用選考試験受験ご案内)、沖縄リハビリテーション福祉学院(暑中見舞い)、沖縄保健医療部(厚生分野に係る平成27年度叙勲並びに褒章候補者の推薦について)、沖縄県公衆衛生協会(沖縄県公衆衛生大会における功労賞被表彰者の推薦について)、沖縄県子ども生活福祉部(「認知症高齢者の日常生活自立度」調査結果について)、ホスピス緩和ケアマインドフルネス研究会(「ホスピス緩和ケアに従事する支援者のためのマインドフルネストレーニング」の後援名義使用について)、沖縄県保健医療部(沖縄県公衆衛生大会における功労賞被表彰者の推薦について)、沖縄県保健医療政策課(沖縄県医事功労者知事表彰候補者の推薦について)
※表彰規定について、ワーキンググループの検討も意見として挙がる。

3. 会員管理システム及び個人情報対策講習会参加について

平成26年8月23・24日 OT協会事務局にて 久貝参加予定。

2) 財務部

部長：山城峻

1. 会費について(7月1日~7月31日)

会費収入173件(県士会指定口座への直接納入：5件、コンビニ納入分：168件)

2. 会費納入率(7月末時点) 平成25年度：45.2% 平成26年度：30%

3. 会計打合せ：7月22日(火)

※シール発送が遅れている事の広報も必要との意見が挙がる。

3) 学術部

部長：石川丈

1. 学術誌「沖縄県作業療法研究~第7号~」作成について

HP掲載およびFAX送信実施済み。昨年実施されたパイロット事業報告については、担当の喜田氏(ごきげんリハビリクリニック)に依頼していく。

2. 学会誌について

第10回開催時にISSN番号取得済み。第8回~第11回学会誌を国立図書館へ郵送済み。

第1回~第7回までの学会誌は、県士会で保管されていない旨を報告した。

4) 教育部

部長：土田真也

1. 現職者共通研修開催：7月27日

- ・受講者：33名（述べ88講座）
- ・アンケートより（抜粋）

今回の研修全体を通しての満足度

満足 10 やや満足 3 ふつう 1 やや不満 0 不満 0

勤務先の休日

土日祝日はお休み 5 日曜祝日はお休み 6 日曜はお休み 1 不定でおおむね週休 2 日 7

その他（日曜祝日は休みの可能性が高い、日曜祝日休み＋土曜日隔週休み）

開催日時について、参加しやすいものは

土曜日昼間 4 日曜日昼間 17 平日夜 2 土曜日夜 5 日曜日夜 0 その他 0

2. 事例検討会①：9月7日

発表者 3名 現在受講者募集中

3. その他今後の事業日程

事例検討会②：2月1日→1月25日に変更

※1月31日、2月1日は認定作業療法士取得研修（管理運営）の沖縄県内開催

現職者選択研修（精神障害）：現在企画調整中

4. 研修会予算について

教育部にて今年度研修会開催のための予算（12万円×1回、1万円×1回）を特別会計枠で持っている。

→使用希望部局はありますか？ ※今回、会員から1件打診がありました。

5. 日本作業療法士協会生涯教育制度推進担当者会議：10月4日・5日（東京）

10月4日欠席、10月5日出席の予定で土田対応します。

5) 事業部

理事：下里綱

1. 県民健康フェアについて

①レイアウト：会場設営は16日（土）15：00～PT・OT・ST 合同で実施。

②準備：OT 協会の旗、ディーゼル、パネル、自助具、OT 県士会用ポロシャツ

*自助具は食事→とよみ生協病院、入浴→南部病院、整容→大浜第二病院が準備

③集合時間：運営委員は10：30 集合（9：00～入館可）

④役割：灰皿設置・撤去→フェア準備・片付け時。駐車場 PT・OT・ST)→12：00～16：00、3名

2. OT フェアについて

①日時：9月28日（日） 場所：サンエー西原センター

②テーマ：『身近に感じてほしい！！作業療法～笑顔のお手伝い～』

③内容：パネル・自助具・作品展示、作品づくり体験、相談、認知症ミニ講座

（講座は北中城若松病院の泰さん・中野さんが担当で内諾済み）

④広告：ポスター縦 A2 で作成、200部。フライヤー 300部（昨年同様）

⑤展示について：作品展示用の額縁を予算で購入予定

⑥服装：OT 県士会用ポロシャツ

⑦物品：テーブル 12 台→ごきげんリハビリクリニックに依頼（レイアウト次第で台数変更）。

6) 広報部

理事：田村浩介

広報誌 8月号印刷中。事務局より発送予定。

7) 福利厚生部

部長：桑江良貴

特になし。

8) 渉外部

部長：安里克也

特になし。

9) 保険部

理事：比嘉一仁

特になし。

10) 比嘉会長

1. IT機器レンタル研修会についての参加協力願い

参加者が伸び悩んでいる。FAXを送付し会員への更なる参加呼びかけをお願いしていく。

2. 協会・協議会合同研修会に参加（東京都 7/26、27） 比嘉会長、石川理事参加

①中村協会長より、協会の新5カ年戦略について説明。

②平成25年度のパイロット事業報告として、喜田会員（ごきげんリハビリクリニック）より研修会にて披露。

好評を得て取組の意義を理解いただけた。

東京都からは、支援教育の取組を披露していただいた。いずれの内容も協会広報誌にて掲載。

- ③厚生労働省老健局所属の村井千賀氏より、地域ケアシステムへの作業療法士参画の意義と重要課題について受講。大分県士会等の士会レベルについての取組を伝達。

3. リハビリ三協会合同研修会に参加（東京都 8/9） 比嘉会長参加

初めてのリハビリ三協会における合同研修会となった。

厚生労働省老健局の鶴田氏の講演や士会レベルでの取組紹介。

地域包括ケアシステムへの参画について、行政とコミュニケーションを深め、地域支援のために士会レベルでの協力が必要であるとの伝達を受ける。

→次回理事会の際に地域包括ケアシステムの講習会(30分程度)を開催する。

11) その他

1. 第12回沖縄県作業療法学会について

学会担当理事：石川丈

◎シンポジウムについて

テーマ：地域包括ケアシステムと沖縄県の作業療法 ～沖縄県における地域社会の未来～

内容：沖縄県における地域包括ケアシステムについて、沖縄県作業療法士会の現状と県や市町村の現状や方向性を理解するとともに、作業療法の地域における役割や方向性を検討する。

シンポジスト：高齢福祉課 座嘉比様

市町村職員 恩納村、北中城、沖縄市職員

田村理事（生活行為向上マネージメント）

中野（認知症関連）

- ※ シンポジウムに入る前に、比嘉会長より地域包括ケアシステムの概略と沖縄県作業療法士会の現状と方向性について説明を行う。